

— 三省製薬が開発した美白*有効成分“コウジ酸”を配合したシリーズ —

「デルメッド ブライトニング シリーズ」
美容成分をリニューアルして、2024年3月にバージョンアップ新発売

- 顔全体に伸ばしやすいクリーム、狙ったところに密着させるスポットクリーム、シートマスクの3商品。
- 北海道ハマナスエキス、ローズマリーエキスホワイトの新配合など、自社開発の美容成分をリニューアル。

*美白とは、メラニンの生成を抑えてシミ・ソバカスを防ぐことです。

美容成分と化粧品の開発・製造・販売とオリジナル化粧品ブランドを展開する三省（さんしょう）製薬株式会社（本社：福岡県大野城市 代表取締役社長：陣内宏行）では、当社の基幹ブランド「デルメッド」の「ブライトニングシリーズ」3商品を2024年3月にバージョンアップ新発売します。当社は“よりよい成分、よりよい化粧品”をコンセプトに、自社開発の美容成分を新配合するなど、丁寧に商品を磨き、育てることを大切に考え、バージョンアップを行っています。*当リリースの内容に関するエビデンスデータは添付資料をご参照ください。

「ブライトニング シリーズ」は、「ブライトニング クリーム」、「ブライトニング スポットクリーム」、「ブライトニング マスク」の3商品から成るシリーズで、いずれにも、当社を代表する美白（*1）有効成分「コウジ酸」を配合しています。今回のバージョンアップでは、「コウジ酸」に加え「ハマナスエキス」、「フランカブランカ」、「ローズマリーエキスホワイト」の合計4つの美容成分を共通成分として全商品に配合しました。加えて、各商品の特長を際立たせる自然由来の美容成分をそれぞれに配合し、テクスチャーも“よりよい使い心地”を追求しました。さらに、全商品とも7つのフリー（旧表示指定成分フリー、アレルギーテスト済み、ノンcomedジェニックテスト済み（*2）、防腐剤フリー（*3）、紫外線吸収剤フリー、香料フリー、着色料フリー）を達成しました。

*1：美白とは、メラニンの生成を抑えてシミ・ソバカスを防ぐことです。

*2：全ての方にcomedが生じないわけではありません。

*3：製品の腐敗を防ぐための防腐剤は配合していないことを指します。

バージョンアップにより、「ブライトニング クリーム」は、伸びの良いテクスチャーで幅広い範囲のケアが、「ブライトニング スポットクリーム」は、肌にピッタリと密着するこっくりとした濃厚なテクスチャーで狭い部分を狙ったケアが、「ブライトニング マスク」は、ゆらいだ肌を整えるケアが、さらに期待されます。



■ 共通成分の 1 つ、北海道ハマナスエキスに新たな機能を発見！

今回はまず、“手の甲よりも、手のひらの方が白い”のは、「DKK 1」というたんぱく質の一種が他の部位よりも多いから、という点に着目しました。

「DKK 1」は、美白因子とも呼ばれており、肌内部の真皮の中にある線維芽細胞から作り出されます。そして、シミの原因であるメラニンをつくるメラノサイトという細胞に働きかけることにより、メラニンの生成を抑えます。そこで、「DKK 1」の産生を促す美容成分を探索しました。

当社オリジナルの 20 種以上の美容成分を調査した結果、バラ科の植物でビタミン C を多く含み、“北海道の花”にも指定されているハマナスから抽出した「北海道ハマナスエキス」が、「DKK 1」の産生を最も促すことが分かりました。北海道ハマナスエキス 1 % で、DKK 1 の発現を約 7 倍も増加させました（2022 年、三省製薬調べ）。



当社の「北海道ハマナスエキス」は、北海道北部の興部町にある「かみでファーム」という農園で無農薬栽培されたハマナスの花びらから抽出しています。ハマナスの花びらは、収穫してから乾燥させるまで、色や香りが悪くならないよう徹底管理されています。



* 北海道ハマナスエキスの詳細 <https://www.sansho-pharma.com/lab/35>（三省製薬による実験）。

* DKK 1 の産生促進については、添付資料をご参照ください。

■ 4 つの共通成分で、炎症・シミ・黄ぐすみを抑えることが期待されます。

従来からの共通成分「コウジ酸」は、メラニンをつくる酵素の働きを抑えるだけでなく、メラニンの生成が始まる前に先まわりする早い段階からアプローチすることが特徴です。さらに、当社の研究により、黄ぐすみの元となる AGEs をつくらせない抗糖化作用も有していることが明らかになりました。

さらに、「北海道ハマナスエキス」、瞑想を助けるアロマや鎮痛・消炎薬として活用される「乳香」と呼ばれる樹脂から開発した「フランカブランカ」、若返りのハーブともいわれるローズマリーから抽出した「ローズマリーエキスホワイト」を配合しました。

「ブライトニング シリーズ」3 商品の土台となる美容成分として、これら 4 つを共通配合することで、炎症、シミ、黄ぐすみを抑えることが期待されます。

* コウジ酸の詳細 <https://www.dermed.jp/store/s/technology/kojicacid/>（三省製薬による実験）。

* フランカブランカの詳細は添付資料をご参照ください。

* ローズマリーエキスホワイトの詳細 <https://www.sansho-pharma.com/lab/23>（三省製薬による実験）。

共通成分

コウジ酸



ハマナスエキス



フランカブランカ



ローズマリーエキス
ホワイト



■「デルメッド ブライトニング クリーム」の特徴。

「ブライトニング クリーム」には、4つの共通成分に加えて、日本や東アジアに分布するスイカズラの花の蕾部分から抽出した「キンギンカ抽出液」と、ビタミンCを豊富に含む「ローズヒップエキス」を配合しました。これにより、シミが発生する前の炎症を防ぐことがさらに期待されます。



* キンギンカ抽出液の詳細 <https://www.sansho-pharma.com/lab/10> (三省製薬による実験)。

* ローズヒップエキスの詳細 <https://www.sansho-pharma.com/lab/85> (三省製薬による実験)。

ヒトの肌は紫外線を浴びると、まず赤くなり、その後、黒くなります。肌が赤くなることを「紅斑」といい、黒くなるのが「色素沈着」です。

当社では、ヒト皮膚に人工的に紫外線を照射して紅斑と色素沈着を引き起こし、そこに「ブライトニング クリーム」を塗って、紅斑と色素沈着の抑制程度を検証しました(2023年)。その結果、紅斑は従来品より20%、色素沈着は従来品より30%抑制することがわかりました。

* データの詳細は添付資料をご参照ください。

さらに、テクスチャーについても、摩擦が少なく、顔に塗り広げやすいよう基剤や配合を見直し、改良しました。

■「デルメッド ブライトニング スポットクリーム」の特徴。

「ブライトニング スポットクリーム」には、4つの共通成分に加えて、アントシアニンやタンニンを多く含み、サラダやハーブティーとしても食される植物「ゼニアオイ」から抽出した「ゼニアオイエキス」を配合しました。さらに、キンポウゲ科の多年草で、古くから消炎、止血、瀉下などの薬として用いられてきた生薬「オウレン」から抽出した「オウレンエキス」も配合しました。



「ゼニアオイエキス」は、角層剥離によりシミの原因となるメラニンの排出を促す働きが期待されます。

また、ヒトの体には、もともと細胞内の異物を分解するオートファジーという働きが備わっています。「オウレンエキス」には、オートファジーの働きを高める作用があり、シミの原因となるメラニンを貯蔵するメラノソームの分解を促す働きを見出しました。

4つの共通成分に加え、「ゼニアオイエキス」と「オウレンエキス」で、シミの元となるメラニンやメラノソームへのアプローチが期待されます。

* ゼニアオイエキスの詳細 <https://www.sansho-pharma.com/lab/86> (三省製薬による実験)。

* オウレンエキスの詳細 <https://www.sansho-pharma.com/lab/76> (三省製薬による実験)。

当社での検証として、ヒト皮膚に人工的に紫外線を照射して紅斑と色素沈着を引き起こし、そこに「ブライティング スポット クリーム」を塗って、紅斑と色素沈着の抑制程度を確認しました（2023年）。その結果、紅斑は従来品より50%、色素沈着は従来品より66%抑制することがわかりました。

さらに、できてしまったシミを改善できるかについても検証したところ、従来品よりも37%、色素沈着が改善したことがわかりました。

*データの詳細は添付資料をご参照ください。

■デルメッド「ブライティング マスク」の特徴。

「ブライティング マスク」には、4つの共通成分に加えて、紫外線や花粉などの外的刺激で生じた炎症を鎮めることが期待される「アラントイン」と「アカモクエキス」、コラーゲンの産生促進が期待される「豆乳発酵液」を配合しました。



* アカモクエキスの詳細 <https://www.sansho-pharma.com/lab/83>（三省製薬による実験）。

* 豆乳発酵液の詳細 <https://www.sansho-pharma.com/lab/57>（三省製薬による実験）。

* アラントインは、医薬部外品抗炎症有効成分として厚生労働省に承認されている成分です。

当社での検証として、ヒト皮膚に人工的に紫外線を照射して紅斑と色素沈着を引き起こし、そこに「ブライティング マスク」の美容液を塗って、紅斑と色素沈着の抑制程度を確認しました（2023年）。その結果、紅斑は従来品より16%、色素沈着は従来品より30%抑制することがわかりました。

さらに、「ブライティング マスク」を2回使用した後の水分量と肌弾力を評価する試験を行いました（2023年）。その結果、水分量は3倍アップ、肌弾力は25%上昇していました。

*データの詳細は添付資料をご参照ください。

「ブライティング マスク」は、肌の炎症やシミを抑制することが期待されるだけでなく、ハリや潤いのある肌に導くことも期待されます。

■デルメッド ブライトニング シリーズ 商品概要。

●デルメッド ブライトニング クリーム

(医薬部外品)

内容量：30 g (約1ヶ月分)

価格：7,700 円 (税込)

レフィル価格：7,480 円 (税込)

●デルメッド ブライトニング スポットクリーム

(医薬部外品)

内容量：20 g (部分使用で3~4ヶ月分)

価格：5,500 円 (税込)

●デルメッド ブライトニング マスク

(医薬部外品)

内容量：22 mL × 6 枚入り (週1~2回使用が目安)

価格：6,930 円 (税込)



三省製薬株式会社 会社概要

- 社 名 三省製薬株式会社 (Sansho Pharmaceutical Co.,Ltd.)
- 創 業 1960年3月
- 代表取締役社長 陣内 宏行
- 資本金 8,767万円
- 売上高 24億3,420万円 (2023年3月期現在)
- 事業所 <本社>
〒816-8550 福岡県大野城市大池2丁目26番7号
<佐賀工場>
化粧品原料製造および化粧品製造業者としてCOSMOS認証取得工場、
ISO9001、ISO22716(化粧品GMP)取得工場
〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤木町5番1
- 事業内容 化粧品原料の開発、製造、販売
医薬部外品・化粧品の開発、製造、販売(自社ブランド・OEM)
- 社員数 99人(パート社員含む)
- URL <https://www.sansho-pharma.com>
<https://www.dermed.jp>
<https://www.iroiku.jp>
<https://yamekaguya.com>

【 本件に関するマスコミの方のお問い合わせ先 】

三省製薬株式会社

東京広報事務局 : (株)パラフ内 小林 央子

TEL 090-4093-8820 (お電話の場合は携帯優先でお願い申し上げます)
03-6455-1438

FAX 03-3437-3303

Eメール nakako@parafu.co.jp

ハマナスエキス 1)



そういえば手のひらってみんな白い



DKK1という美白因子が
他の部位よりも多い！

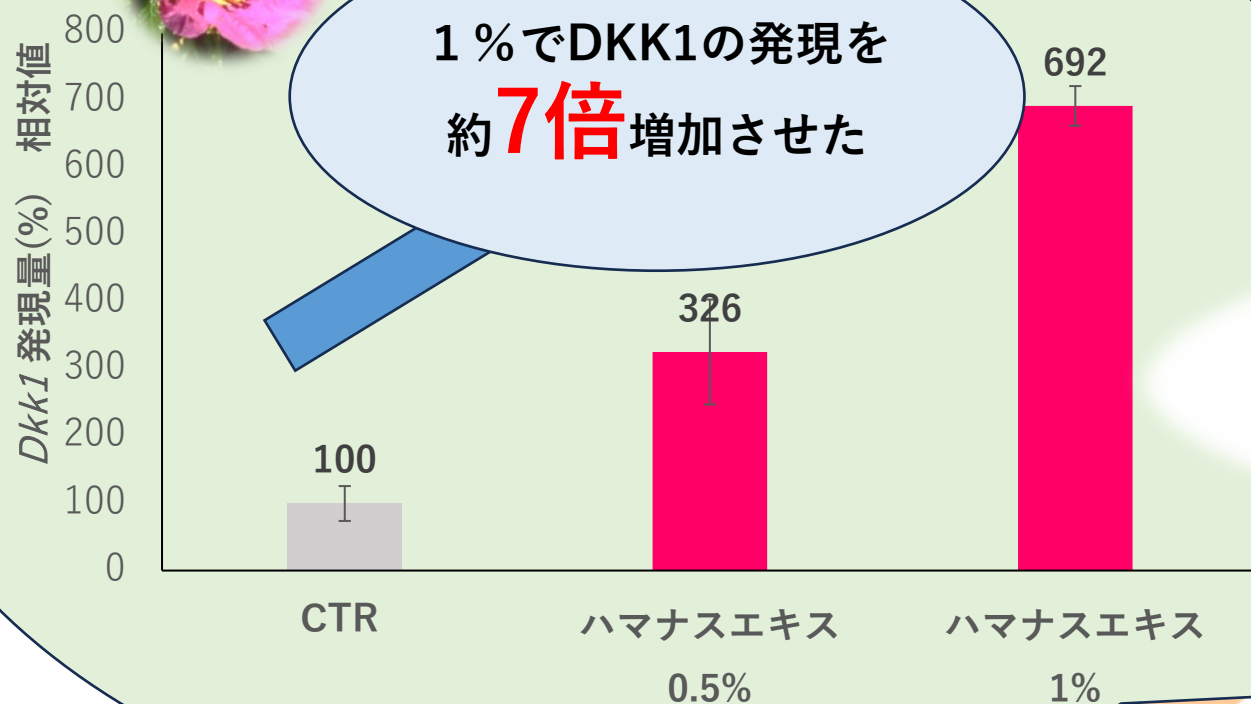
DKK1とは



ハマナスエキス 2)

肌から人生を美しく

DERMED



1%でDKK1の発現を約**7倍**増加させた

ハマナスエキスが美白因子**DKK1**の発現を促進

DKK1

—線維芽細胞

DKK1の発現を確認

(2022年 三省製薬調べ)

表皮

真皮

ハマナスエキス 3) まとめ

肌から人生を美しく

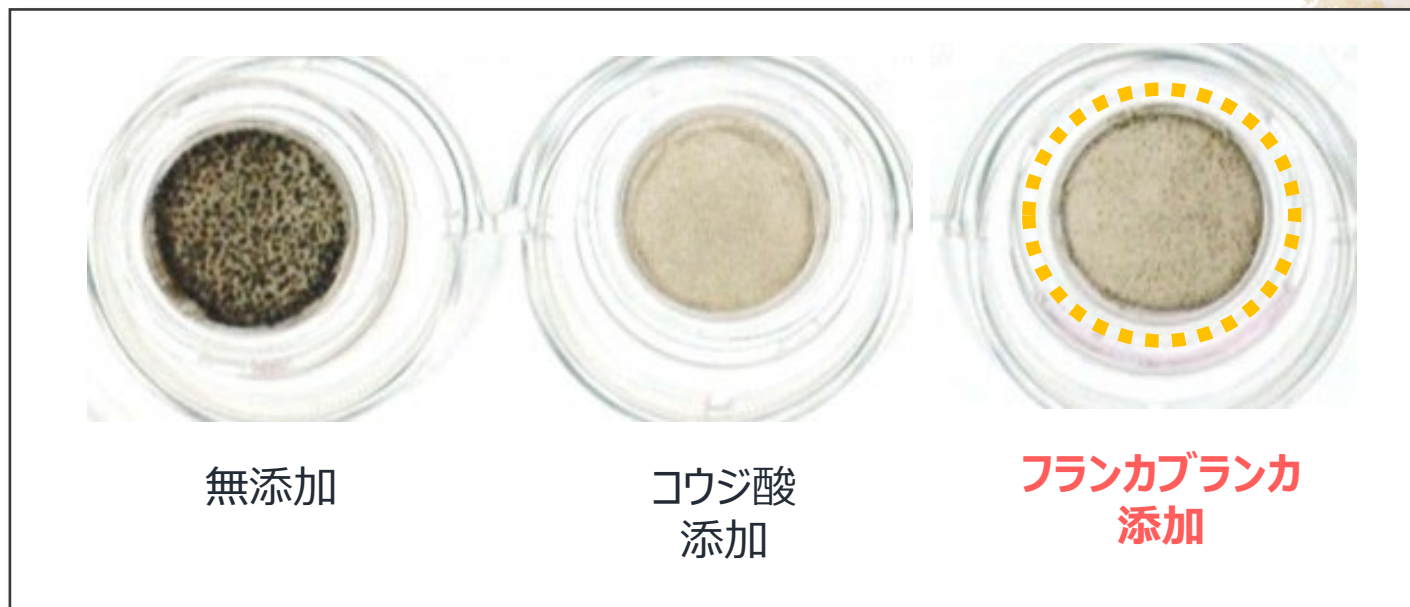
DERMED



乳香と呼ばれる樹脂から開発した美容成分

メラニンの生成抑制は、コウジ酸に匹敵

三次元皮膚モデルでメラニン生成量を比較

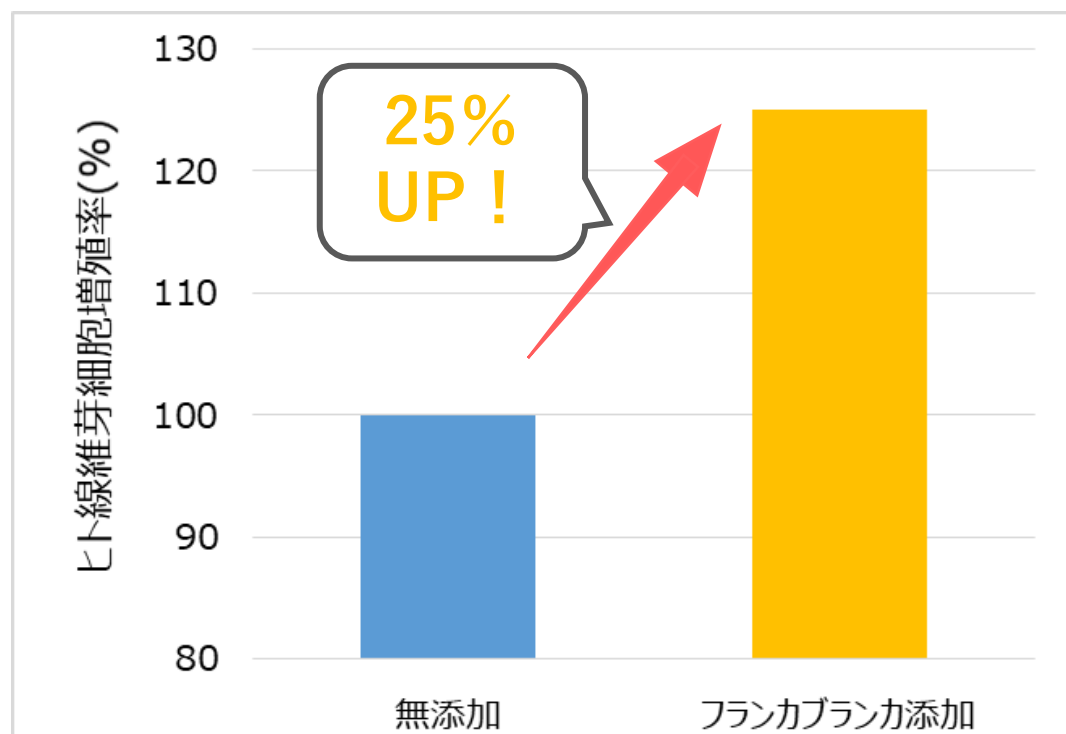


4)人工皮膚に試料を添加し、14日間培養した後のメラニン生成量を比較。(2017年 三省製薬調べ)

乳香と呼ばれる樹脂から開発した美容成分

肌の弾力・ハリを改善

ヒト線維芽細胞増殖作用

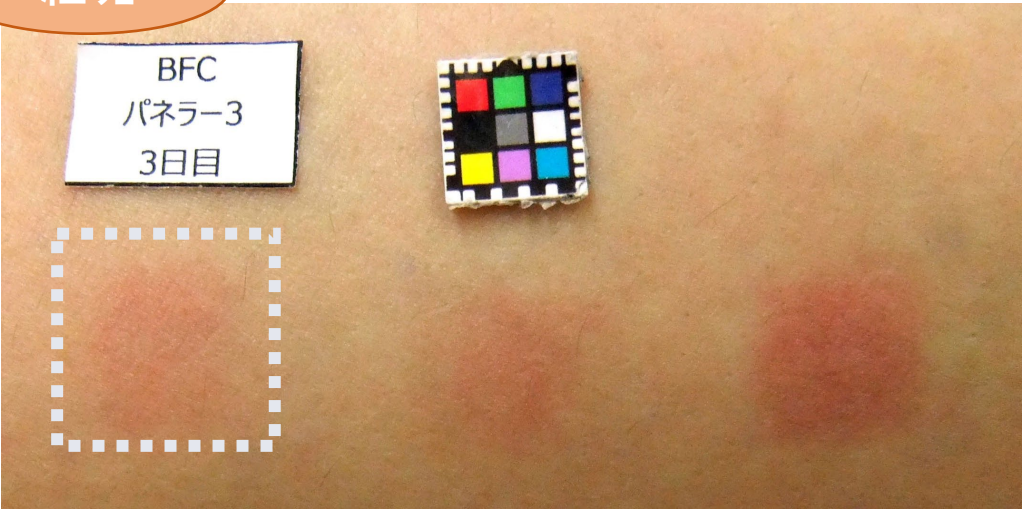


6) ヒト線維芽細胞に試料を添加し、培養した際の増殖率を比較。(2018年 三省製薬調べ)

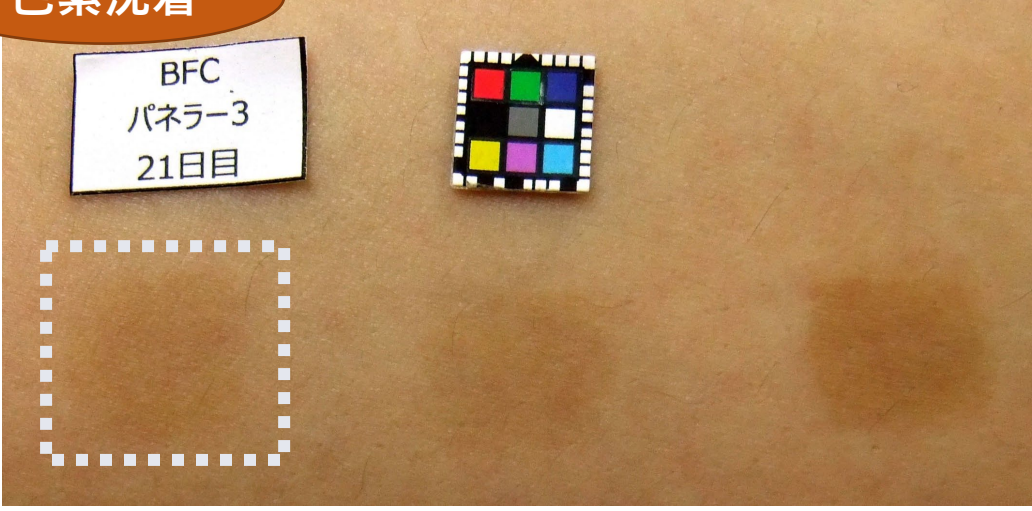
ブライティング クリーム 1)

ヒト皮膚での美白効果 紫外線照射→クリームの紅斑・色素沈着抑制効果を評価

紅斑



色素沈着



バージョンアップ品 従来品 無添加クリーム

バージョンアップ品 従来品 無添加クリーム

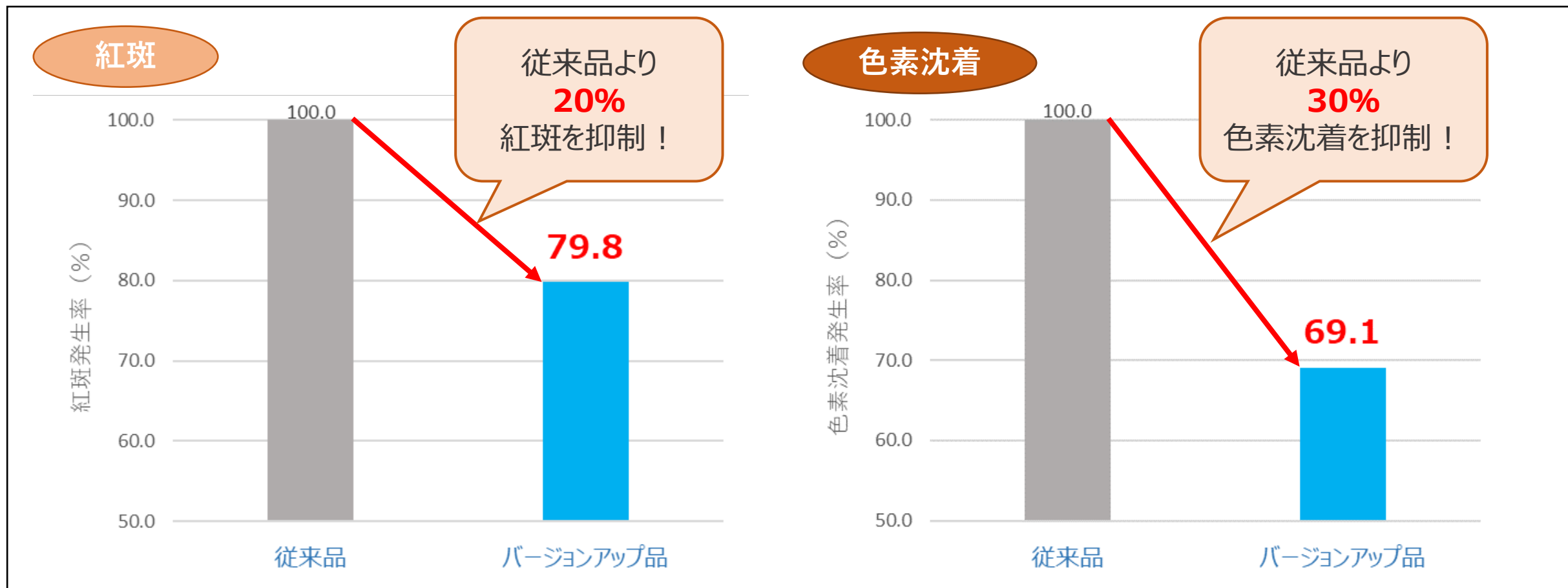
紅斑抑制作用を確認！
→シミの元となる**炎症**を抑える

色素沈着抑制作用を確認！
→**シミの発生**を抑える

※紫外線照射により人工的に紅斑・色素沈着を起こした皮膚に、試料を21日間塗布した際の色素沈着の程度を比較。(2023年 三省製薬調べ)

ブライティング クリーム 2)

ヒト皮膚での美白効果 紫外線照射→クリームの紅斑・色素沈着抑制効果を評価

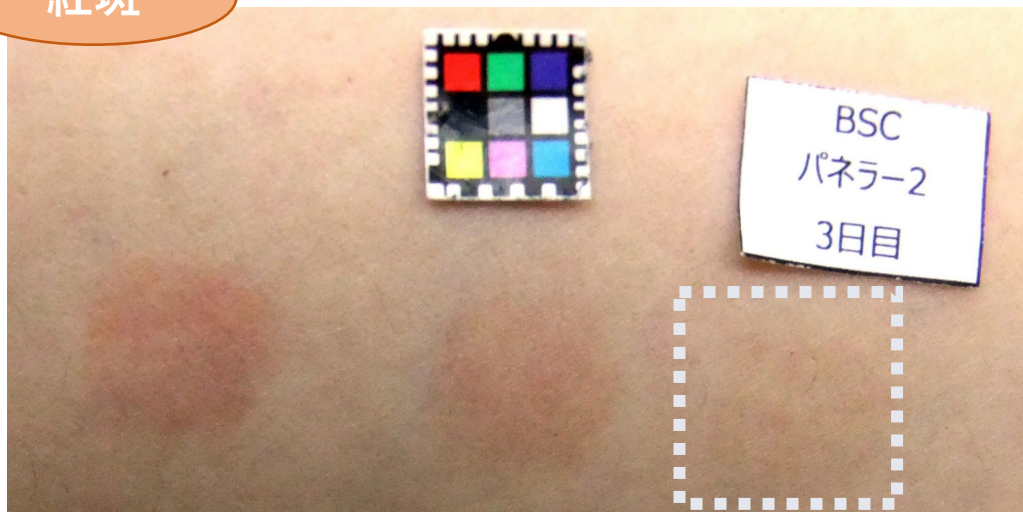


※紫外線照射により人工的に紅斑・色素沈着を起こした皮膚に、試料を21日間塗布した際の色素沈着の程度を比較。(2023年 三省製薬調べ)

ブライトニング スポットクリーム 1)

ヒト皮膚での美白効果 紫外線照射→クリームの紅斑・色素沈着抑制効果を評価

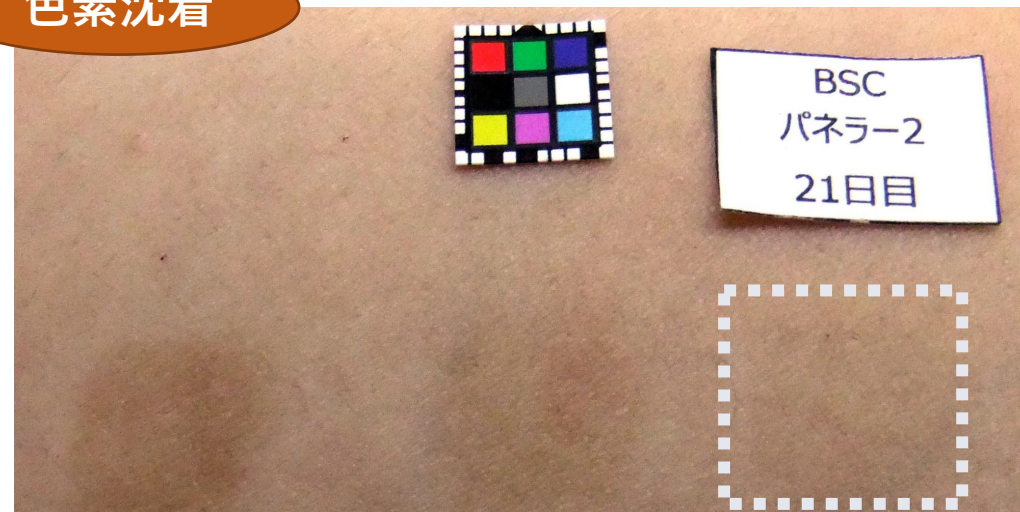
紅斑



無添加クリーム 従来品 バージョンアップ品

紅斑抑制作用を確認！
→シミの元となる**炎症**を抑える

色素沈着



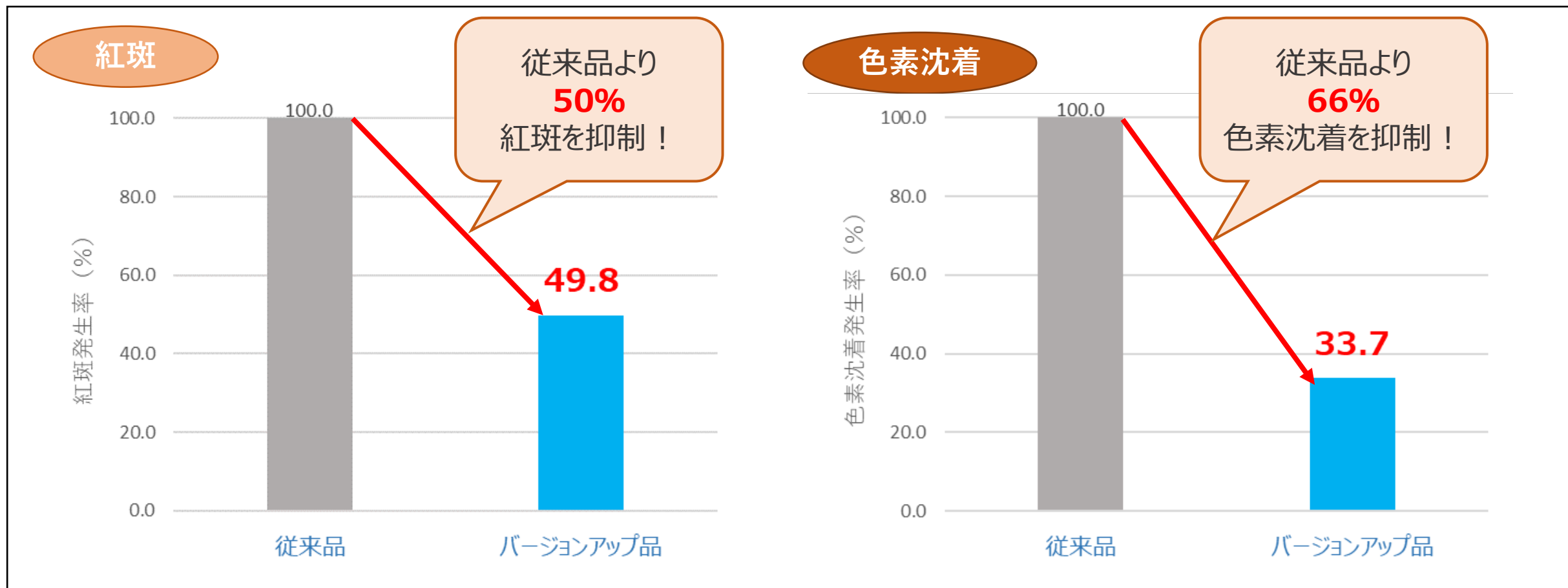
無添加クリーム 従来品 バージョンアップ品

色素沈着抑制作用を確認！
→**シミの発生**を抑える

※紫外線照射により人工的に紅斑・色素沈着を起こした皮膚に、試料を21日間塗布した際の色素沈着の程度を比較。（2023年 三省製薬調べ）

ブライトニング スポットクリーム 2)

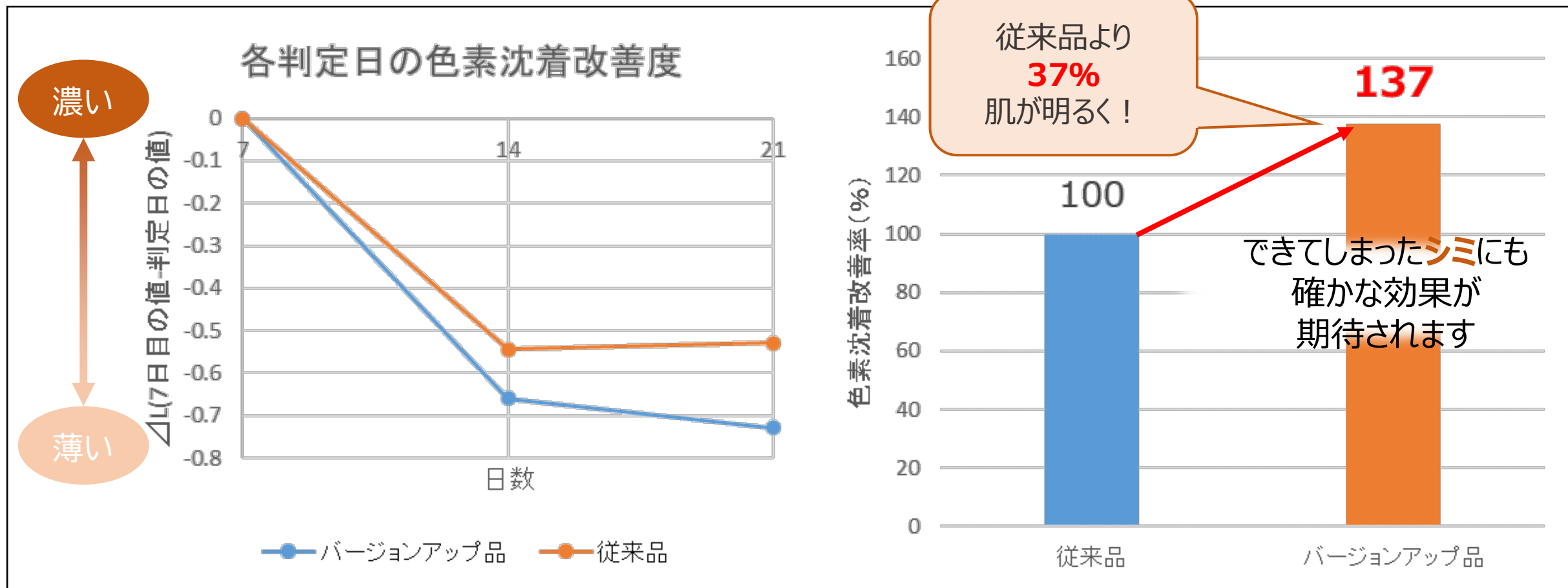
ヒト皮膚での美白効果 紫外線照射→クリームの紅斑・色素沈着抑制効果を評価



※紫外線照射により人工的に紅斑・色素沈着を起こした皮膚に、試料を21日間塗布した際の色素沈着の程度を比較。(2023年 三省製薬調べ)

ブライティング スポットクリーム 3)

ヒト皮膚での美白効果 色素沈着の改善効果进行评估

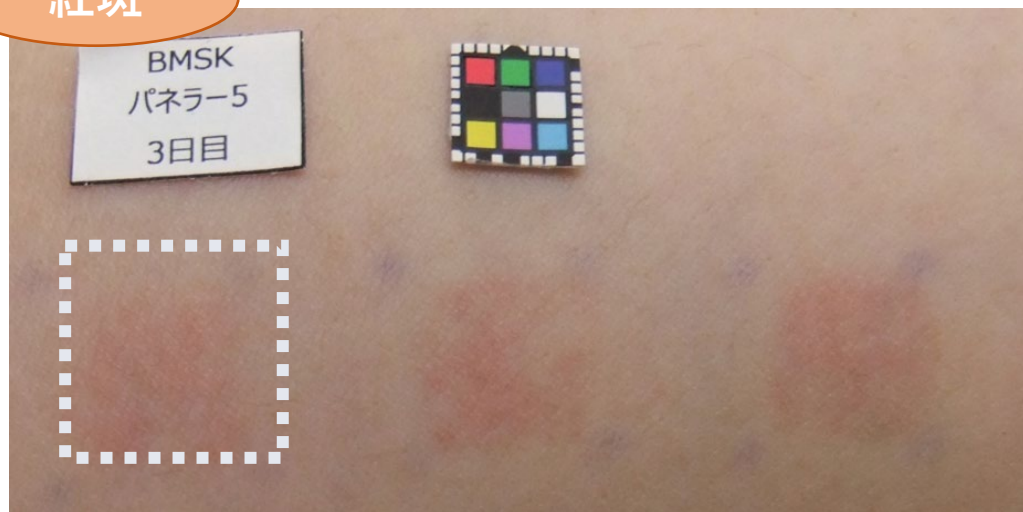


※紫外線照射により人工的に紅斑・色素沈着を起こした皮膚に、試料を21日間塗布した際の色素沈着の程度を比較。(2023年 三省製薬調べ)

ブライティング マスク 1)

ヒト皮膚での美白効果 紫外線照射→マスクに含まれる美容液の紅斑・色素沈着抑制効果を評価

紅斑



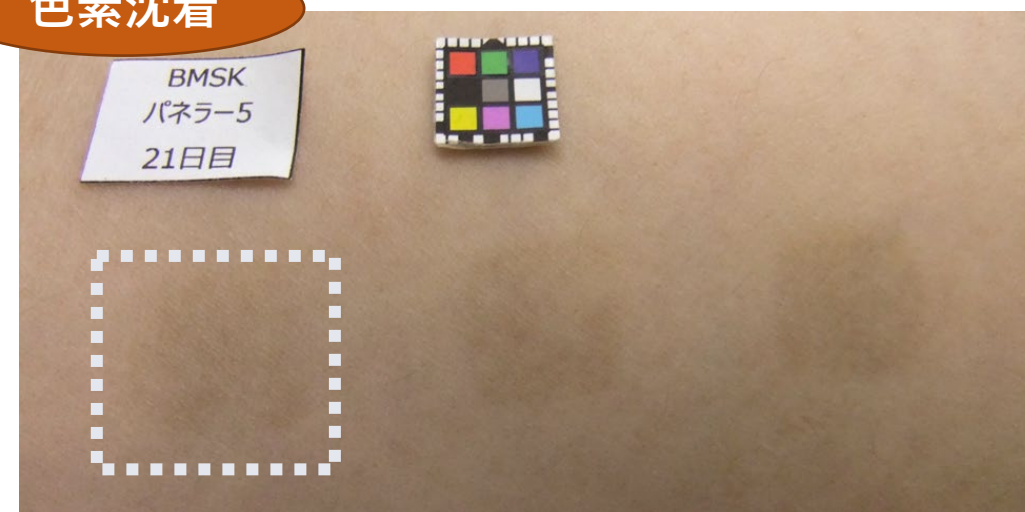
バージョンアップ品

従来品

無添加液

紅斑抑制作用を確認！
→シミの元となる**炎症**を抑える

色素沈着



バージョンアップ品

従来品

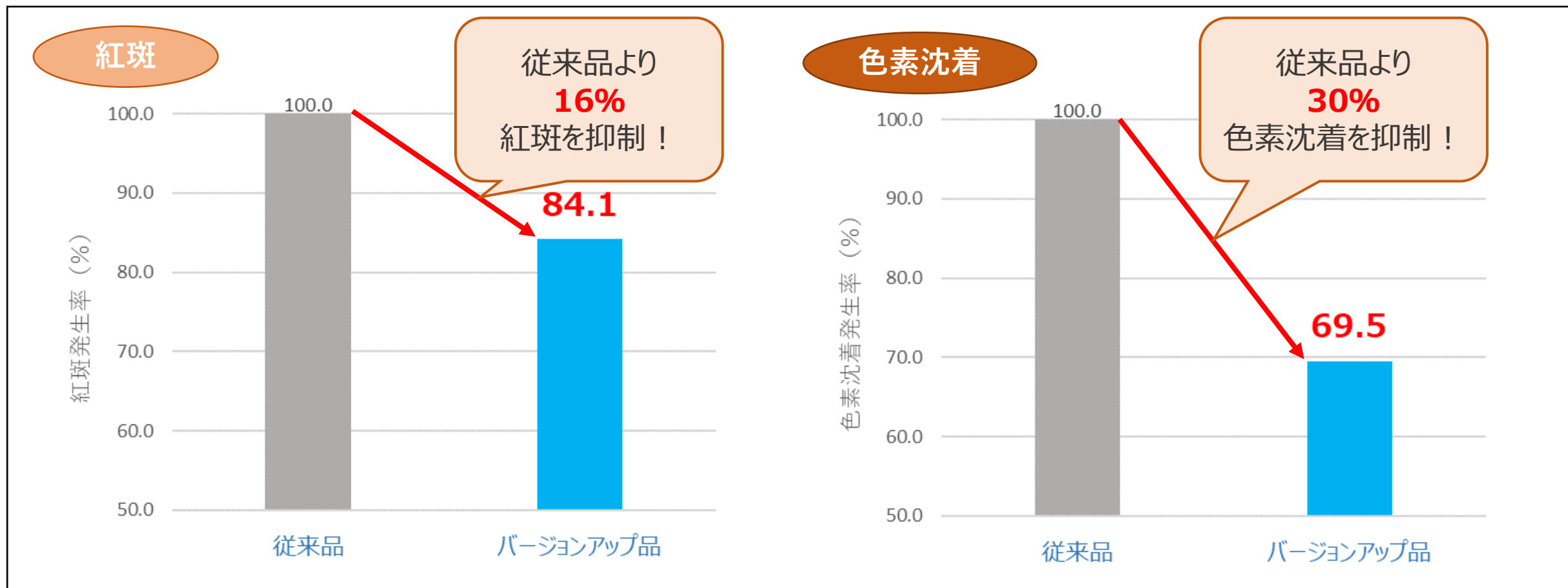
無添加液

色素沈着抑制作用確認！
→**シミの発生**を抑える

※紫外線照射により人工的に紅斑・色素沈着を起こした皮膚に、試料を21日間塗布した際の色素沈着の程度を比較。(2023年 三省製薬調べ)

ブライティング マスク 2)

ヒト皮膚での美白効果 紫外線照射→マスクに含まれる美容液の紅斑・色素沈着抑制効果を評価



※紫外線照射により人工的に紅斑・色素沈着を起こした皮膚に、試料を21日間塗布した際の色素沈着の程度を比較。(2023年 三省製薬調べ)

ブライティング マスク 3)

ヒト皮膚での保湿・ハリ効果 マスクを2回使用後の水分量と肌弾力を評価

